

230 南山大学 法学部 法律学科 合格

私が受験生の一年間を振り返って大切だと思ったことを書きたいと思います。

一つ目に、自分の勉強法を確立することです。三年生になってから模索するよりも、一年生、二年生のうちから定期テストなどで様々な勉強法を試し、より自分に合った方法を見つけるとよいです。特に歴史は勉強法でかなり得点が変わります。私の場合、教科書の重要単語をひたすら書くというやり方から、教科書をざっと読んで流れを確認→単語を書く、というやり方にすることで偏差値が大幅に上がりました。

二つ目に、参考書を買うすぎないことです。受験生のはじめのころは何からやればいいのかわからず、参考書をたくさん買いがちですが、参考書は一冊で十分です。何冊も中途半端に解くより一冊を徹底的に解くほうが何倍もいいです。私もはじめのころに参考書やワークをたくさん買いましたが、半分以上残っているものやまったく開いていないものもあります。参考書は学校から買うものだけで十分です。

三つ目に、補習をしっかりと受けることです。毎日のようにあり、やめたくなることもあると思いますが、必ず自分の力になります。ただ、どれだけ力になるかは自分の補習の受け方次第です。きちんと受ければ必ず合格に近づけます。

四つ目に、赤本を早めに見ておくことです。学校によって出題傾向は大幅に違います。私が志望した大学の英語の問題は、長文一問、その他はすべて文法という特殊なものでしたが、どうせ解けないから、と赤本を見るのが遅かったのでこのことに気付くのが遅れました。早く見ておけばもっと対策できたのに、と後悔しています。

五つ目に、絶対に諦めないことです。模試の結果に落ち込んだりして志望校を変えたいと思うことがあると思います。そうなっても最後まで諦めないでください。私も、一度も過去問の合格最低点を取れないまま本番を迎えましたが、合格することができました。辛い一年間を乗り越えてつかんだ合格の喜びは、何物にも代えがたいです。

最後に、これを読んで少しでも役に立てることがあればうれしいです。悔いの残らないように頑張ってください。応援しています。

231 藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 合格

これから文系私立大学を目指す中でも理科基礎を受験で使う皆さんへ、僕が受験という長い道のりを制するために重要だと思ったことを伝えたいと思います。

受験をする前にまず、自分はどの道に進みたいのか、そしてそのためにはどの大学の学部学科に入るのかという目標を決めてください。目標を決めているか決めていないかでは本当に違います。そして目標を紙などに書いて勉強机に貼ってください。勉強をされていて辛くなった時に見ると、モチベーションの維持・向上につながります。僕も実際にやってみて何度も助けられました。

次は時間の使い方です。受験生にとって時間は大切なものです。僕は放課に生物や化学の

問題を解いたり、英単語を数個覚えたりするなど、隙間時間で勉強をしていました。そして休日などの長い時間を存分に活用しましょう。少しでも多くやることが合格につながります。だからと言って休憩をはさまず続けてやるのは禁物です。休憩とすることで集中力や判断力などの回復に繋がります。休憩を正しくとって「質が高く効率の良い」勉強をしましょう。

そして勉強の仕方です。まず夏休みが終わるまでにやることを紹介します。英語では英単語をマスターすることです。夏休みが終わるまでに英語の文法をマスターすることは難しいと思います。文法は「Vintage」などの文法書を2周、最低でも1周はしてください。理科基礎では単語だけでなく、計算の公式・やり方を覚えておき、現代文では漢字だけでなく、現代文単語を覚え、解き方や速読の練習をしておくといいと思います。秋・冬は演習ばかりになります。乗り遅れないように計画を立てて勉強しましょう。

最後になりますが、周りには家族や友達、先生方など、様々な人が支え応援してくれています。最後まで自分を信じて、試験という壁を乗り越えてください。努力は必ず報われます。最後の最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

232 愛知大学 経営学部 会計ファイナンス学科 合格

私がこれから受験生になるみなさんに伝えたいことはただ一つです。それは共に頑張る仲間を見つけることです。私は家では勉強に集中できず、机の前に座ってもせいぜい30分が限界でした。塾には通っていなかったのも、私は色々なカフェや図書館など自分に合う場所を探しました。とにかくここへいけば自分の勉強のスイッチが入る場所を早めに見つけておくことが大切だと思います。休日は自分が集中できる場所で勉強をしていました。

平日は学校が終わった後は残って勉強をしました。家で勉強ができる人は大丈夫ですが、私のような帰宅したら一気に勉強スイッチが切れる人は学校の最終下校時刻まで残って自習するといいです。学校では毎日勉強に追われ、補習もあり、授業が終わったらすぐに帰りたいものなので、大半の人がSTを終えると荷物をまとめ家に帰ります。自分の周りの友達が帰ってしまうと、自分も流されてしまいます。だから、一緒に学校に残って頑張りあえる仲間を作る、あるいは、見つけることが大切です。

私は受験期とにかく周りの人に恵まれました。学校が終わっても毎日本館で残るメンバーは決まっていて、みんながやっているのに自分が帰るのは違う、みんなの士気を自分が下げちゃいけないと感じるようになりました。そして仲間が暗くなるまで残って頑張っているのをみて、自分も頑張ろうと思えました。とにかく一緒に遅くまで学校で残って頑張っている仲間の存在が、私の心の支えでした。

そして残って自習をしていると、自分は他のみんなより頑張っているのだという自信がきます。そして、学校には自分の頑張りを見てくれている人が多くいます。応援してくれる人がどんどん増えていき、さらに自分の自信につながっていきます。このように、学校で残って自習することには多くのメリットがあります。

とにかく受験は 1 人では戦えません。私はそのことを、受験期を通して一番感じました。たくさんの人の支えがあったからこそ、乗り越えられました。自分の周りの人を大切にしてください。一緒に頑張る仲間を絶対に見つけてください。応援しています。

233 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 合格

私が一年間の受験を通して思ったことを文 I の人に向けて書こうと思います。

まず目標は高く持つことです。私は最初から立命館大学を目指していましたが、今思えばもっと上を目指すこともできたと思います。特に志望校がない人は、最難関私立大学を目指すのもありだと思います。現役生は最後まで諦めなければ伸び続けます。私自身、秋の模試まで E 判定でした。しかし、最後まで諦めず勉強し続けて合格を掴み取ることができました。

二つ目は基礎を確実に固めるということです。これはよく聞く言葉だと思いますが、私は基礎を完璧にしたからこそ合格できたと思っています。英単語帳は夏までに 20 周して、世界史の教科書はボロボロになるまで読み込みました。基礎の段階では覚えることがたくさんあります。そのため丸暗記したくなりますが、大切なのは理解することです。公式や歴史の年号を覚えていても公式の使い方や歴史の流れ、背景を知らなければ意味がありません。なぜ？を意識して取り組むことが大切です。そして理解できたらインプットとアウトプットを繰り返してください。人間は忘れる生き物です。覚えたと思っても忘れてしまうことがあります。特に英単語は受験直前まで取り組むことをお勧めします。また参考書は自分の学力を把握した上で、何を目標として、いつまでに終わらせるのか目的を明確にしてから選んでください。

三つ目は自分の志望する大学の傾向を知ることです。私立大学はそれぞれ問題の傾向がかなり異なります。英語で言えば文法を多く出す大学や長文重視の大学などがあるので、大学ごとに合わせて対策することが大切です。進路指導室に赤本が置いてあるのでまずは見てみることをおすすめします。

この一年間とても大変でしたが、自分自身大きく成長することができたと実感しています。頑張った分だけ結果は現れます。春になって後悔することのないように頑張ってください。応援しています。

234 神戸市外国語大学 外国語学部 国際関係学科 合格

私は受験勉強ときに大切だと思うことを二つ紹介します。

一つ目は勉強する習慣をつけることです。一学期は基礎をできるようにするために毎日同じような内容を勉強します。英語だったら単語や文法、国語だったら古典や漢文の文法、漢字などを覚えられるようにします。それらができるように自分で計画を立て、繰り返して

いくと、毎日同じ時間に同じ教科を勉強することが当たり前になり、習慣となります。一学期に学習習慣が身についていれば、学校がない夏休みや補習で疲れる二学期以降も家で勉強をしないという考えが無くなります。英語の長文読解や国語の文章問題は、基礎ができるようになった後で定期的に解いていかないとできるようならないと思っています。だから、演習を二日に一回同じ時間に解くなどと決めて習慣づけていれば解けるようになってくると思います。実際私もそれで英語や古典が伸びました。

二つ目は本番になる前に確実に伸びる勉強方法を見つけることです。受験勉強をしていると、伸び悩んでいる教科がでてきます。そのようなときにずっと同じ方法で勉強するのではなく、インターネットで調べたり、先生に聞いたりします。そして、本当に伸びているかを模試で確かめ、伸びていなかったら別の方法を試してみます。それを繰り返すうちに自分に合った勉強方法を見つけることができると思います。そうすることで私は、本番前の勉強のときにどのように勉強すれば良いかが分かり、不安が少なくなりました。共通テストでは、勉強方法をわかっていた教科はしっかり点を取れていましたが、わかっていない教科は目標よりも低い点数でした。この経験から私は、勉強時間以上に勉強方法を知っていることが大切なのだと実感しました。

これを読んで、受験生の皆さんが何か得られるものがあると嬉しいです。最後まで後悔しないように頑張ってください。応援しています。

235 名古屋工業大学 工学部 物理工学科 合格

僕は、高2の一月から本格的に受験勉強を始めました。受験勉強を通して思ったことは、思ったよりやるべきことが多いということです。国公立大学を目指すなら、ほとんどの場合、共通テストで、5教科すべてをやらなければなりません。なので、出来るだけ早い段階から受験勉強を始めるべきです。

僕が受験勉強をすることにおいて一番大切だと思うことは、毎日勉強を継続することだと思います。最初のほうは継続するのがしんどいと思うかもしれませんが、毎日少しずつでも続けていけば段々慣れてきます。一日でもサボってしまうと、また勉強を開始するのがとても辛く感じます。なので、部活があつて疲れている日もあると思いますが、少しでも勉強をするべきだと思います。

睡眠時間もとても重要です。毎日、自分に合った睡眠時間を取るべきです。僕は、睡眠時間を削って勉強をしていた時期がありますが、本当にやめたほうが良いです。睡眠時間を削って勉強しても、結局次の日眠くなって、授業に集中できなくなるだけです。

志望校をどこにするかで悩んでいる人もいると思います。僕は、高三の最初は、名工大を目指していました。しかし、八月くらいにやはり違う国立大学が良いと思い、大学のランクを下げました。そしたら、担任の先生にこれほどかというぐらい反対されました。そのとき、僕は内心「なんでや、別に良いやん。」と、思っていました。でも、受験を終えた今なら分

かる気がします。最後の最後まで志望校を下げるべきではないと、僕は思います。秋冬に勉強の成果が現れることが多いです。僕も最後の模試が、一番判定結果が良かったです。結局、自分の一番行きたい大学を目指すことが最も重要だと思います。

236 名古屋工業大学 工学部 電気・機械工学科 合格

僕が受験で大切だと思うことについて、二つ書こうと思います。

一つは継続することです。僕は三年生の春休みから受験に向けて勉強をしました。初めのうちはやる気に満ち溢れていて、高いモチベーションを維持しながら受験勉強を取り組んでいました。しかし、六月頃から急にやる気がなくなり日に日に勉強時間が減っていきました。それでも大学に合格しました。それができたのは毎日のほんのちょっとの勉強でした。どこかで完全に途切れてしまうと再開するのに時間と労力を要します。だから僕は、やる気がなくても寝る前の英単語の確認を欠かさずやりました。またどこかでやる気が出るときが来るので、そこから頑張ればいいと思います。

もう一つは、計画をたてることです。正直僕はこれできていなかったもので、買った参考書を最後までやりきれず、安定した勉強時間の確保ができなくて苦手だった英語も最後までできるようにはなりませんでした。ゴールから逆算して今の自分がやるべきことをやっていくのが一番の近道だと思います。基礎ができていないと後々後悔するので、早めに基礎を固めておくことをお勧めします。ある程度できるようになったら問題をたくさんこなすことで新しい知識を得ることもできます。僕は秋ぐらいから補習のプリントや模試などの復習をしていました。やりはじめるのが遅かったと思っています。復習と言うのは一番手っ取り早く覚える方法です。やらないのはもったいないので常に復習を意識した勉強をしていきましょう。

やるときは全力で、サボるときも全力で。努力の先に成功が待っています。頑張ってください。

237 名古屋工業大学 工学部 電気・機械工学科 合格

僕が受験で一番苦戦した英語について書いていきます。

僕はまずは英語から、受験勉強を始めようと思いました。そして、高三のゴールデンウィーク辺りから英語を勉強し始めました。今思うと、最初に英語から始めたのに最後まで英語に苦しめられたので、英語を始めるのはもっと早くてもよかったなと思います。まず、英単語帳のとりあえずここまでは覚えようという目標を立てて、達成できました。そして二ヶ月後の次の模試で自信満々で英語に挑んだ結果、全く出来ませんでした。なぜかという、単語を覚えたことに満足してしまって、復習することを忘れていたからです。ここで、僕がおすすめの暗記のコツを教えます。それは、一度目に覚えた後、次は一日後に復習、次は一週

間に復習、というように復習する間隔をだんだん伸ばしていく、というやり方です。僕は、初めはちゃんと覚えているか不安で一度に何回も繰り返して復習していましたが、やり方を変えてからは覚えやすくなったと思います。

英単語を覚え終わったのが七月ぐらいで、そこから理系科目を重点的に勉強した夏休みを挟み、九月から英語の勉強を再開しました。英語の勉強の順番は、基本的には単語→文法→長文だと思いますが、僕は文法を飛ばして長文の勉強をしました。とりあえず今は共通テストのことだけを考えよう、と思ったからです。共通テストの英語は基礎レベルの文法がほとんどなので、始める時期が遅かったと思う人は文法の勉強を飛ばすことをおすすめします(基礎レベルの知識は必要)。そして、英語の長文の勉強を始めました。僕の英語長文の方法は、数をこなすということです。共通テストの英語リーディングは速読勝負なので、場数を踏んで長文に慣れることこそが一番大切だからです。また、色々な長文に触れることで、知らなかった単語や文法も知ることができるので、本番まで時間が足りない僕には最適な方法だったと思います。実際、その後の模試からは、英語は第一志望の大学の合格圏内の偏差値をキープできていたので、今思い返してもこのやり方で良かったと思います。そして共通テスト本番の二週間前辺りから、毎日英語長文と触れるように意識し、本番でも失敗せずに目標点を取ることができました。

最後に、僕が紹介した勉強法はあくまで僕に合っているというだけなので、それぞれ色々試して自分に合う勉強法を探すことをおすすめします。最後まで諦めずに頑張ってください。

238 滋賀大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科 合格

僕が受験において重要だと思ったことを受験生の皆さんに二つ伝えたいと思います。

まず一つ目は、英語は早めに勉強し始めた方が良いということです。理由はひとつ。点数が安定するからです。僕の体感では、大学受験の英語は少々独特な言い回しはあるものの、日本語に直してしまえばすらすらと内容が入ってくるものがほとんどで、国語や数学のように、高度な読解力や思考力を必要とする問題はそこまでないように感じます。つまり、どれだけ単語と熟語をたくさん知っているかで点数が大きく変わるので、正直覚えたもの勝ちです。一、二年生、もしくは遅くとも高三の夏休みまでに英語の勉強をしっかりとっておけば、その後の英語の勉強がだいぶ楽になります。あとは過去問や問題集をひたすら解き、覚えた英語をアウトプットすることで、自然と英語力は上がっていくと思います。僕自身、受験本番は英語に助けられました。やはり数学や物理などは、自分が苦手な分野やどこから手をつければ良いか分からないような問題が本番で出題される危険性があるので、安定して点数を取ることができる英語の存在が、僕にとっては大きかったです。

二つ目は、先生方や家族とよく話し合って慎重に志望校選択をするべきだということです。共通テストが終わった後、担任の先生と面談をして、最終的にどの大学を受けるか決め

ることになるのですが、僕はそこですごく悩みました。共テで失敗し、それまで志望していた大学の最後の模試での判定も E 判定だったからです。その大学は二次の配点が高く、逆転できる可能性もあったので、はじめはその大学にチャレンジしようと思っていました。しかし、家族や先生方と話していくうちに、理系で国公立に行くことの重要性、そして自分が学びたいことはその大学にしかないのかなど様々なことを考えさせられ、徐々に気持ちが変わっていき、最終的に滋賀大学を受験することに決め、無事に合格することができました。正直、志望大学を変えずそのまま受けていたら落ちていたと思います。色んな人の意見を訊いておいたおかげで、自分にとって最適な志望校選択ができたと思っています。

239 愛知教育大学 教育学部 学校教員養成課程 高等学校教育専攻 数学専修 合格
僕が受験で大切だと思ったことは四つあります。

一つ目は普段の授業をしっかりと聞くことです。50 分という限られた時間で先生が説明することは基本的に大切なことばかりです。一つでも逃すと問題が解けなくなる事があります。特に問題の解説は聞いておく必要があると感じました。

二つ目は補習をとることです(特に苦手科目)。補習では応用問題を解きます。授業ではやらないことや入試により近いレベルの問題を取り組む事ができます。また、苦手科目については授業ではできなかったことを復習するチャンスです。苦手科目は家では中々やる事が無いので、補習で自分の苦手を潰していく事が大切だと思います。

三つ目は学習計画です。一年という限られた時間で無駄なことをしている暇はありません。一日〇〇時間という計画だけでなく、「得意な所は応用のこの問題だけ」、「苦手なこの部分は基礎からやろう」など具体的に決める事が大切です。

四つ目は分からないところをそのままにしておかない事です。解答を見ても理解できない所をそのままにしておくと、似た問題が出た時に絶対に解けません。先生に質問するのが一番ですが、それが苦手な人は友達に教えてもらってもいいと思うので、必ず理解して次に進む事が大切です。